

猿 橋
小 学 校

瑛 玖 良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

地域とともに歩む学校に

校長 澁谷 一男

合同学習室前の廊下に面した一角に、今年も紫陽花が見事な花を咲かせた。これほど雨が似合う花もないものだと、うっとりしい時季の一服の清涼剤に、しばし目を留める。

向かいのプールでは、子どもたちの明るい歓声が響いている。梅雨空の下でも元気いっぱいの子どもの姿に、一足早い真夏の風景を見る思いがした。



プールサイドには数名の保護者の姿が見える。「瑛玖良ボランティア」の方々だ。水泳の授業をより安全に行うために、今年度新たな取組として「水泳授業監視ボランティア」をお願いしたところ、21名ものの方々からお申し出をいただいた。万に一つの事故もあってはならない水泳の授業では、監視の目は多いほどよい。本当にありがたいことだ。

また、現在、職員室前の掲示版には、運動会の生き生きとした子どもたちの様子が掲示されている。大勢の子どもたちが足を止めて、掲示物に見入っている。実は、これも「瑛玖良サークル」を中心とした保護者の皆さんの手によるものだ。「環境ボランティア」として、今後も継続してお願いできればうれしい限りである。

今月 10 日、学区内で発生したコンビニ強盗未遂事件。容疑者が逮捕されていない状況で、子どもたちの安全確保は最優先だった。集団下校、帰宅後の過ごし方の指導、パトロール強化の要請等を行う一方で、「下町交番地区防犯連絡協議会」を通じて、地域の方々による下校時間帯の見守りを依頼した。急なお願いにも関わらず、児童玄関前には、20 名を超える黄色いベストを着用した地域の方々が集まってくださった。加えて、通学路の要所要所にも地域の方々が立ってくださっていた。保護者の中には、ご自宅付近で下校してくる子どもたちを見守ってくださった方もおられたことだろう。改めて地域の結束力、学校への協力体制を実感した出来事だった。

更に、昨年度の舟入町 2 丁目に続いて、新栄町 1 丁目の町内会長さんからも、新たに防犯パトロールを実施したい旨のお話があった。今回の事件を機に、まさにピンチをチャンスに変えていただいた思いだ。

職員玄関に「瑛玖良ボランティア」の名札を準備させていただいた。できるときに、できる人が、できることを…いつでもお気軽に学校に足をお運びいただきたい。